

2020年10月8日

会長談話

女性・性暴力被害者を蔑視する発言をした杉田議員に
強く抗議し、議員辞職を求める

鹿児島県保険医協会
会長 高岡 茂

自民党の杉田水脈衆議院議員が、9月25日、自民党内の会議で性暴力被害者への支援事業をめぐって「女性はいくらでもウソをつける」と話したと、複数のメディアが報じ、杉田議員は発言を当初否定していたが10月1日に自身のブログで一転して事実であることを認めた。その後公的な謝罪はない。

「女性はいくらでもウソをつける」との発言は、女性全体の尊厳をおとしめるものであり、性暴力被害者を更に傷つけるセカンドレイプと言える。ひいては、言性暴力の根絶、性暴力被害者との連帯を目的としたフラワーデモを通して性暴力被害者が心の中に秘めていたことを語る社会になりつつある流れを止め、語っても何にもならないといった諦めを強いてきた過去に戻してしまいかねない。

杉田議員はこれまでも人権意識に欠けた、性差別的な発言を繰り返してきた。杉田議員が月刊誌に寄稿した文章「『LGBT』支援の度が過ぎる」では、「彼ら、彼女らは子供を作らない、つまり『生産性』がないのです」などと持論を展開した。自民党は「個人的な意見とはいえ、問題への理解不足と関係者への配慮を欠いた表現がある」と公式サイトに掲載し、本人にも指導した。また、元TBS記者から性行為を強要されたと訴えているジャーナリスト・伊藤詩織氏についてBBCの番組で「女として落ち度がある」と言及した。

根深い性差別や性暴力を根絶する政策を打ち出す立場の国会議員が性差別的発言を行うなど言語道断である。公人として人権を無視した不適切な発言を繰り返す杉田議員は国会議員としての資質に欠いており、国政を担うことは許されない。杉田議員の発言に厳重に抗議すると共に、議員辞職を強く要請する。